

第42回全日本シニアバドミントン選手権大会要項

—公益財団法人スポーツ安全協会スポーツ普及奨励助成事業—

- 1 主催 公益財団法人 日本バドミントン協会
- 2 主管 宮城県バドミントン協会、山形県バドミントン協会
- 3 後援 スポーツ庁、宮城県、山形県、(公財)宮城県スポーツ協会、(公財)山形県スポーツ協会、(公財)仙台市スポーツ協会、岩沼市、(公財)山形市スポーツ協会、天童市スポーツ協会、上山市スポーツ協会
- 4 協賛 ヨネックス株式会社、株式会社ゴーセン、ミズノ株式会社、アイベックススポーツ株式会社、サントリーウエルネス株式会社
- 5 期 日 令和7年11月22日(土)～24日(月)
 - 11月22日(土) 9:00～ 競技(第1会場～第12会場)
 - 11月23日(日) 9:00～ 競技(第1会場～第12会場)
 - 11月24日(月) 9:00～ 競技(元気フィールド仙台、山形県総合運動公園)
- 6 会場・種目 (1) レセプション・開会式について
 - ・レセプション・開会式は行いません。
 - ・各会場で、開始式を行います。
 (2) 競技会場・種目

会 場	会場名称(コート面数)・住所・電話番号	種 目
第1会場	元気フィールド仙台(宮城野体育館)(16面) 宮城県仙台市宮城野区新田東4-1-1 022-231-1221	男子30歳以上 単・複 女子30歳以上 単・複 30歳以上 混合複 ※最終日は元気フィールド仙台
第2会場	仙台市泉総合運動場(泉体育館)(8面) 宮城県仙台市泉区野村字新桂島前60 022-372-1019	男子35歳以上 単・複 ※最終日は元気フィールド仙台
第3会場	名取市民体育館(8面) 宮城県名取市増田字柳田250 022-384-3161	女子35歳以上 単 35歳以上 混合複 ※最終日は元気フィールド仙台
第4会場	岩沼市総合体育館(13面) 宮城県岩沼市里の杜1-1 0223-24-4831	男子40歳以上 単・複 女子40歳以上 単・複 40歳以上 混合複 ※最終日は元気フィールド仙台
第5会場	本山製作所青葉アリーナ(青葉体育館) (10面) 宮城県仙台市青葉区堤町1-1-5 022-719-1191	男子45歳以上 複 女子45歳以上 単 45歳以上 混合複 ※最終日は元気フィールド仙台
第6会場	仙台市若林体育館(8面) 宮城県仙台市若林区卸町東2-8-10 022-236-0011	男子45歳以上 単 女子45歳以上 複 ※最終日は元気フィールド仙台
第7会場	セキスイハイムスーパーアリーナ (宮城県総合運動公園総合体育館)(22面) 宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1 022-356-1122	男子50歳以上 単・複 女子35歳以上 複 女子50歳以上 単・複 50歳以上 混合複 ※最終日は元気フィールド仙台

第8会場	山形県体育館（16面） 山形県山形市霞城町1-2 023-644-5656	男子55歳以上 単・複 女子55歳以上 単・複 55歳以上 混合複 ※最終日は山形県総合運動公園
第9会場	山形市総合スポーツセンター（18面） 山形県山形市落合町1 023-625-2288	男子60歳以上 単・複 女子60歳以上 単・複 60歳以上 混合複 ※最終日は山形県総合運動公園
第10会場	山形県総合運動公園（18面） 山形県天童市山王1-1 023-655-5900	男子65歳以上 単・複 女子65歳以上 単・複 65歳以上 混合複 ※最終日は山形県総合運動公園
第11会場	天童市スポーツセンター（10面） 山形県天童市大字小関1230 023-654-6100	男子70歳以上 単・複 女子70歳以上 単・複 70歳以上 混合複 ※最終日は山形県総合運動公園
第12会場	三友エンジニア体育文化センター（10面） 山形県上山市けやきの森2-1 023-673-2288	<公開競技> 男子75歳以上 単・複 女子75歳以上 単・複 75歳以上 混合複 男子80歳以上 単・複 女子80歳以上 単・複 80歳以上 混合複 ※最終日は山形県総合運動公園

※上記年齢は令和7年4月1日現在のものとする。

○種目によって開催する会場が異なりますので、ご注意ください。できる限り同年代の種目に
出場してください。

- 7 競技規則 令和7年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程により行う。
- 8 競技方法 各種目ともトーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。
- 9 使用用器具 （公財）日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び令和7年度第1種検定合格シャトルを使用する。
- 10 参加資格 令和7年度（公財）日本バドミントン協会の登録会員で、（1）（2）のいずれかに該当し、（3）の要件を満たすもの。
（1）前年度大会各種目ベスト16以上の者
当該種目に限らず2種目の参加を認める。ただし、「単」と「混合複」は兼ねられない。
（2）（公財）日本バドミントン協会決定の各都道府県割当枠内の推薦者
（3）（公財）日本バドミントン協会公認審判員の有資格者であること（公開競技に出場する者も含む）
- 11 参加制限 （1）各都道府県の基礎割当数は8名とする。
（2）各都道府県の割当数は、令和6年度（公財）日本バドミントン協会登録区分一般登録者数の5%とする。ただし、次の選手は割当数には含めない。
① 前年度大会、各種目ベスト16以上の者
② 公開競技に出場する者
（3）1選手2種目以内とし、「単」と「混合複」は兼ねて出場できない。
（4）参加申込状況により主管県の判断で追加参加を認めることができる。
- 12 組合せ （公財）日本バドミントン協会指名のレフェリーもしくは、デピュティーレフェリーの指示の下、別紙組合せ基準に基づき、主管団体役員との間で厳正に執り行う。

- 13 参 加 料 一人一種目につき、5,000円とする。(複は、10,000円/組)
参加料は、所属都道府県協会ごと一括して、申込締切日までに下記の口座に振り込むこと。
【振込先】 七十七銀行 南光台支店
普通口座 5000479
宮城県シニアバドミントン連盟
- 14 申込締切 令和7年9月5日(金)必着のこと。
- 15 申込方法 第42回全日本シニアバドミントン選手権大会公式サイトに掲載してある所定の申込書・納入表をダウンロードし、必要事項を入力してから印刷を3枚取り、各々を(正)・(副)・(控)として、(正)・(副)は各都道府県協会長の印を捺印の上、所属都道府県協会毎に一括して申込締切日までに下記に送付すること。
また、「選手名変更届」「同姓同名選手届」の該当者がいる場合は、同様に送付すること。
なお、入力した申込書・納入票ファイルはEメールにて、以下のメールアドレスに送付すること。※Eメールのみの申込みは受け付けない。
(正) 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square
(公財)日本バドミントン協会 事務局 宛
(副) 〒982-0803 宮城県仙台市太白区金剛沢3丁目10番7号
石崎 利夫 気付
宮城県シニアバドミントン連盟 会長 古橋 政紀 宛
・ファイル送付先メールアドレス info@seniorbad2025.com
(控)は、各都道府県協会保管すること。
あわせて、日本バドミントン協会の会員登録システムから以下のデータも参加申込書と一緒に電子メールで送付すること。
・大会参加資格確認表(参加システム検索前データ)
・大会参加資格結果表(参加システム検索後データ)
確認表により、参加資格等に該当しない参加者の方がいましたら、対応をしていただき、参加資格に不備のないようにお願いします。対応後の結果表(不備のないこと証明する表) については必ず添付をしてください。
- 16 表 彰 各種目とも3位までの入賞者には(公財)日本バドミントン協会からメダル及び賞状を授与する。
- 17 宿 泊 別紙(宿泊・弁当・交通のご案内)を参照のこと。
- 18 着 衣 試合時の服装は、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とし、上着の背面には、都道府県名を明記すること。文字列の大きさについては、大会運営規程第24条による。
- 19 大会事務局 ○宮城県(30歳以上～50歳以上)
〒982-0803 宮城県仙台市太白区金剛沢3丁目10番7号 石崎 利夫 気付
宮城県シニアバドミントン連盟 会長 古橋 政紀
Eメール: info@seniorbad2025.com
○山形県(55歳以上～80歳以上)
〒990-0075 山形市落合町44-8
山形県バドミントン協会 理事長 佐藤 美代子
Eメール: s.miyoko.31521@gmail.com
※ お問い合わせは、メールにて各県担当者までお願いします。
- 20 備 考 (1) この事業は、公益財団法人スポーツ安全協会スポーツ普及奨励助成事業の助成金を受けて実施しています。
(2) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものであり、これ以外の目的に利用することはありません。
(3) 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程の対象大会です。
(4) 新型コロナウイルス感染症等拡大防止対策を行う場合は、大会HPでご案内いたします。

- (5) 病気・事故に備えて、各自健康保険証を持参してください。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、その後の責任は参加者に帰します。
- (6) 特に、申込期限・申込方法・宿泊申込については、締切日にご留意ください。
- (7) 他都道府県選手と組んで「複」の種目に出場する場合は、両方の都道府県からの申込が必要となります。
- (8) 本大会は、敗者審判（主審）にてお願いします。（準決勝以降に関しては主管団体が行います。）
- (9) 競技中の怪我等の応急処置は主催者（主管者）で行いますが、傷害保険は（公財）日本バドミントン協会に加入していますので、必要な方は、（公財）日本バドミントン協会ホームページの「1種大会バドミントン事故報告書」をご覧ください。

【大会名】 全日本シニアバドミントン選手権大会

【組合せ基準】

1. 前回大会の成績を参考にして組合せをする。
2. シード枠（最大32枠）は、種別参加人数・組の概ね30%程度とする。
3. 前回大会で成績上位（上記2より算出された種別シード枠の数）のプレーヤーで、今回参加するプレーヤーを上位順にシードする。その際は、前回大会の敗戦相手とは反対の山に抽選配置する。
4. 前回大会に同種別の若年代に出場し、ベスト16に入ったプレーヤーで、今回参加するプレーヤーを、別途考慮した位置に配置する。
5. シード順位は、前回大会1位、2位の順、同位3位以下については、順位を抽選した後、配置する。
6. シード枠が埋まらなくても、上記3に該当しない前回大会の成績上位者からの繰上げはしない。
7. 上記のシード配置においては、所属バランスによる調整は行わない。
8. シード配置後は、フリー抽選とする。
9. 同一都道府県バランスや複のパートナーの分離を考慮し配置する。
10. 複のパートナーの単種別での分離については、できうる限り1/4の山に入らないように配置する。
11. 混合複において、複のパートナーの分離については、できうる限り1/8の山に入らないように配置する。
12. 前回大会の初回戦で対戦したプレーヤーが、再び初回戦で対戦することを避ける。

以上